

彦島大橋 個別補修計画



令和4年度版

架橋箇所

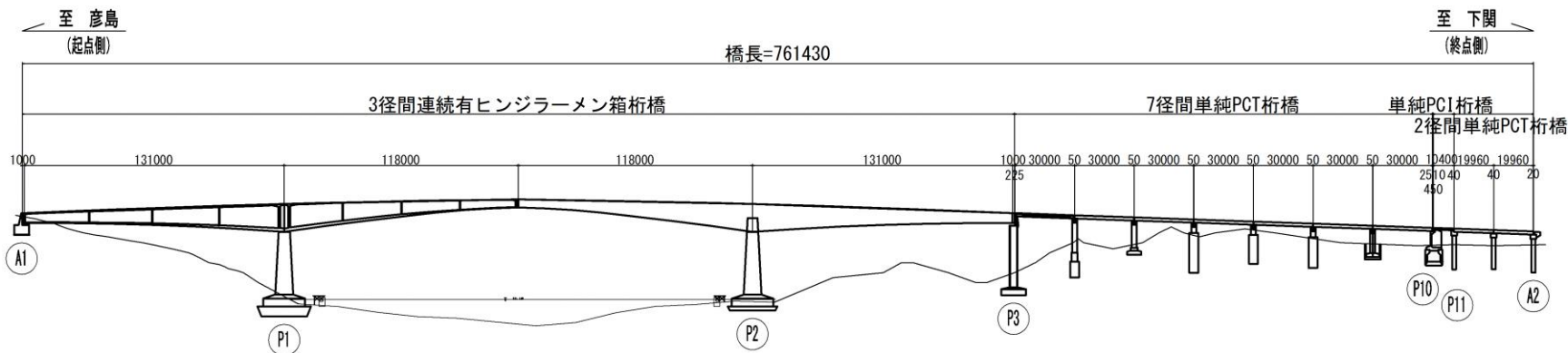


下関市彦島迫町
(緯度33.95108, 経度130.90428)

「この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである」

■ 橋梁諸元

管理事務所	下関土木建築事務所	橋 種	コンクリート橋
路 線 名	一般県道福浦港金比羅線	径 間	13径間
橋 長	760.0m	上 部 工 式	有ヒンジラーメン箱桁 (第1-3径間) PCT桁 (第4-10径間, 第12-13径間) PCI桁 (第11径間)
幅 員	9.5m (全幅員)	下 部 工 式	重力式橋台 (A1)、パイルベント式橋台 (A2) 壁式橋脚 (P1-P3)、柱式橋脚 (P4-P10) パイルベント式橋脚 (P11, P12)
架 橋 年	1975年 (昭和50年)	基 礎 工 式	直接基礎 (A1, P1-P3, P5, P9) ケーソン基礎 (P10) 杭基礎 (P4, P6-P8, P11-P12, A2)
交差物件	航路		



■計画期間

- ・100年

■計画の見直し

- ・10年以内

■維持管理方針

- ・「予防保全型」維持管理

■部材毎の維持管理方針

P C 上 部 工	予 防 保 全	支 承	予 防 保 全
下 部 工	予 防 保 全	落 橋 防 止	予 防 保 全
基 礎 工	事 後 保 全	伸 縮 装 置	予 防 保 全
高 欄	事 後 保 全	排 水 装 置	事 後 保 全
舗 装	事 後 保 全	道 路 照 明	事 後 保 全

■維持管理上の留意事項

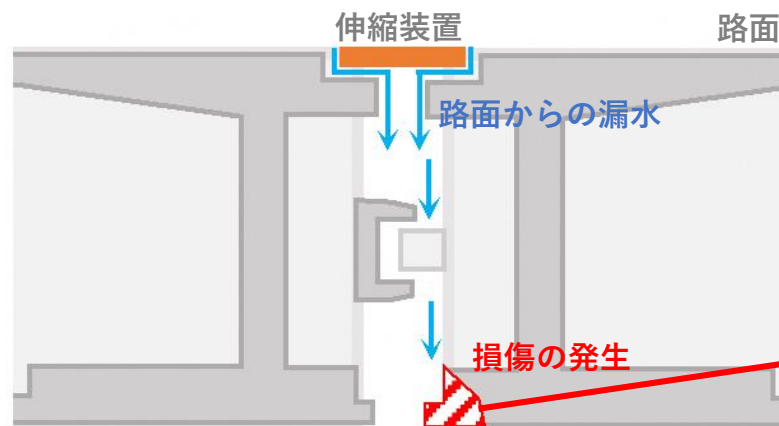
・ 海岸付近

➤ 塩害による損傷

・ 有ヒンジ（第2径間）

➤ 漏水による損傷

【ヒンジ部漏水による損傷イメージ】

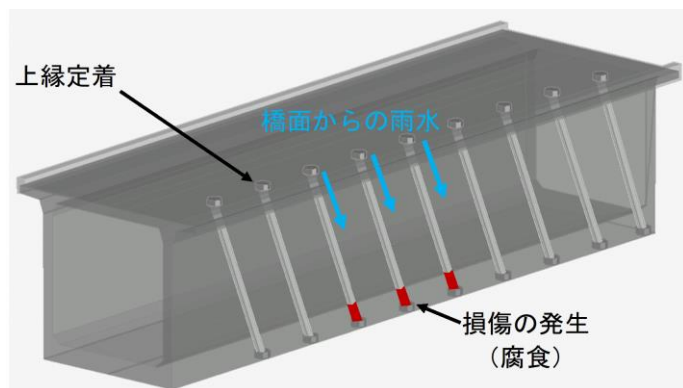


・ PC鋼材の上縁定着

➤ 定着部からの雨水侵入に起因するPC鋼材の腐食

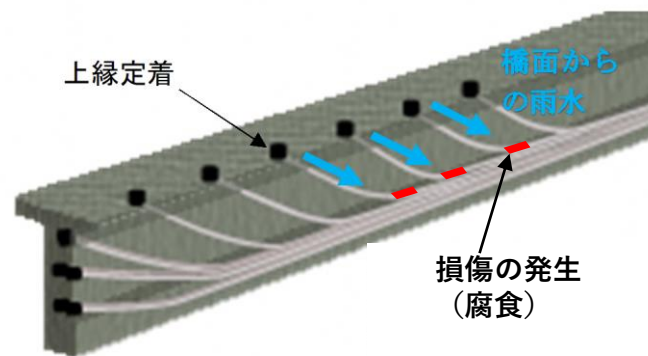
【PC鋼材の上縁定着による損傷イメージ】

(第1径間～第3径間)



橋面から雨水の侵入により、PC箱桁に配置されたPC鋼材が腐食する。PC鋼材が腐食した場合、せん断耐力が低下する可能性があるとともに、路面へPC鋼材が突出する可能性がある。

(第4径間～第10径間)



橋面からの雨水の侵入により、PCT桁に配置されたPC鋼材が腐食する。PC鋼材が腐食した場合、曲げ耐力が低下する可能性がある。

■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施
※地震など緊急時については適宜実施
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積

■調査計画

- ・ コンクリート部材について15年に1回の頻度で塩化物イオン量を調査
- ・ コンクリート部材の含浸材塗布箇所について15年に1回の頻度で透水試験を実施
- ・ ヒンジを有する第1径間～第3径間について5年に1回の頻度で縦断方向の変位量を計測

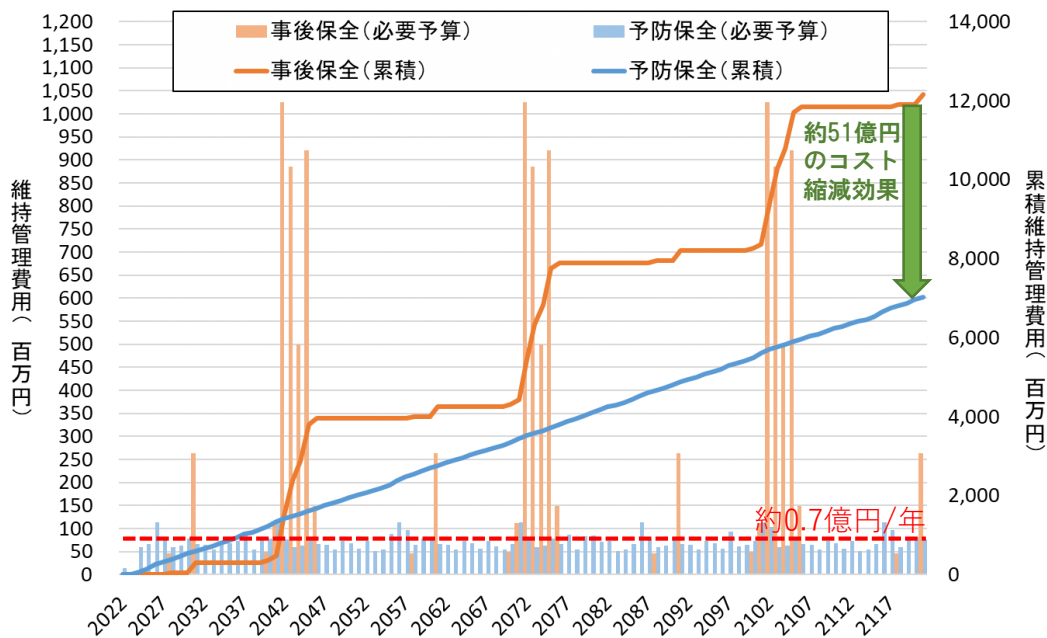
■補修方針

- ・ 予防保全型の維持管理を実施

区間名	橋梁形式													点検・調査			
	3径間有ヒンジラーメン橋						7径間ポストテンション方式単純T桁橋						フレキシブル方式桁橋	2径間プレテンション方式PC単純T桁橋	定期点検	詳細調査	縦断測量
	上部工	A1-P1	P1-P2	P2-P3	P3-P4	P4-P5	P5-P6	P6-P7	P7-P8	P8-P9	P9-P10	P10-P11	P11-P12	P12-AP			
区間長	131.0m	236.0m	131.0m	30.0m	30.0m	30.0m	30.0m	30.0m	30.0m	30.0m	30.0m	10.4m	20.0m	20.0m			
下部工	A1	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	A2			
2022年																	
2023年																	
2024年	地覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆	表面被覆			
2025年	上部工	表面被覆															
2025年	下部工	表面被覆															
2026年	上部工		表面被覆														
2027年	上部工			表面被覆													
2028年	上部工				表面被覆												
2028年	下部工					表面被覆											
2029年	上部工													表面被覆			
2029年	舗装	打換え・防水工		打換え・防水工													
2029年	下部工																表面被覆
2030年	上部工					表面被覆							表面被覆				
2030年	下部工						表面被覆							表面被覆			
2031年	上部工						表面被覆						表面被覆				
2031年	下部工							表面被覆						表面被覆			
2032年	上部工							表面被覆									
2032年	下部工								表面被覆								
2033年	上部工								表面被覆								
2033年	下部工									表面被覆							
2121年	上部工								表面被覆				表面被覆				
2121年	伸縮					取替	取替	取替									
2121年	下部工												表面被覆				

※点検・調査結果や予算状況により変更の可能性がある

■ 予算



■ 予算の平準化

■ 100年間で
維持管理費
約51億円の
縮減効果

■ 安全

■ 架橋環境（塩害地域）、
構造特性に応じた確実
な点検、調査

■ 異常箇所
の
早期発見